

No. 139 2022.11.1 発行

南みのわ

# 議会だより

9月定例会

ギャザー  
ようこそ! GATHER! へ



地域おこし協力隊拠点「GATHER!」(北殿)  
※「集まる」という意味

## 一般質問 動画配信中

インターネットから議員の一般質問動画が観られます。



インターネット村ホームページ▶  
村議会▶本会議録画中継▶定例会

## 主な内容

- 給食センター完成に向けて:9月定例会 … P2~P4
- 一般質問 …… P5~P12
- 議会活動(教育関係者との懇談会ほか) …… P13
- きらきら村の仲間たち:地域おこし協力隊 …… P14~P15
- モニターの声 …… P16



# 学校給食センター 令和5年8月完成 に向けて建設スタート



9月定例会は8月31日から9月14日までの日程で開かれました。  
20議案はすべて原案のとおり可決、認定、同意。陳情が2件提出され、不採択1件、継続審査1件と

※  
なりました。また、議員提出の意見書1件が採択されました。

件名(議案名はわかりやすく簡略表記しています)	賛成	反対	議決結果
議案提案関係 安倍元首相の国葬の中止を求める意見書(提出者:笹沼) ●意見書に賛成:三澤 安倍元首相は、共謀罪や安保法制など憲法違反の法改正を繰り返した。モリ・カケ・サクラ疑惑も残ったままだ。憲法違反の国葬に反対する。 ●意見書に反対:丸山 9月27日に葬儀実施が決定している。長期にわたる総理の実績を評価し、国葬による弔問外交実現などの理由により賛成。	5	4 丸山・登内 都志・加藤	採択 意見書の提出 (4号に記載)
条例関係 村職員定数条例の一部を改正する条例…………… 機構改革、育児休業職員の増加に対応するための職員定数増員:村長事務部局(151人→154人)、教育委員会事務部局(12人→14人)	9	0	可決
村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例…………… 人事院規則の改正に伴う育児休業取得要件の緩和措置等	9	0	可決
令和3年度決算関係(別表1) 一般会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
水道事業会計決算の認定	9	0	認定
下水道事業会計決算の認定	9	0	認定
令和4年度補正予算関係(別表2) 一般会計補正予算(第5号)	9	0	可決
一般会計補正予算(第6号)	9	0	可決
介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決
水道事業会計補正予算(第2号)	9	0	可決
下水道事業会計補正予算(第2号)	9	0	可決
その他 工事請負契約の締結(学校給食センター建設工事:建築) …………… 契約の相手方 原建設(株) 4億1030万円	9	0	可決
工事請負契約の締結(学校給食センター建設工事:機械設備) …………… 契約の相手方 (株)堀建設 4億1800万円	9	0	可決
工事請負契約の締結(学校給食センター建設工事:電気設備) …………… 契約の相手方 (株)エイ・エム・シイ 1億4135万円	9	0	可決
教育長の任命…………… 清水 閣成氏の任期満了、同再任	9	0	同意
教育委員会委員の任命…………… 薄田 東氏の任期満了、同再任	9	0	同意
陳情 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情…………… 総務経済常任委員会是不採択	9	0	不採択
「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める陳情書…………… 福祉教育常任委員会は継続審査※	—	—	—

## 令和4年第3回臨時会(7月25日)

件名(議案名はわかりやすく簡略表記しています)	賛成	反対	議決結果
令和4年度一般会計補正予算(第4号)…………… 補正額 1億2695万円 補正後の総額 68億1156万円	9	0	可決
財産の取得について(給食運搬車の購入)…………… 契約の相手方 (株)ギャランショップ伊北 669万円	9	0	可決

## 令和3年度決算(千の位以下切り捨て表記) 別表1

会計別	歳入	歳出	差引残額
一般会計	81億1988万円	71億5215万円	9億6772万円
介護保険事業特別会計	10億9342万円	10億2434万円	6908万円
国民健康保険事業特別会計	11億7408万円	11億5664万円	1743万円
後期高齢者医療特別会計	1億4960万円	1億4939万円	21万円
会計別	収入	支出	
水道事業会計	収益的	2億8960万円	2億6268万円
	資本的	1458万円	5410万円
下水道事業会計	収益的	6億1602万円	5億8213万円
	資本的	3億1788万円	5億1833万円

## 令和4年度補正予算(千の位以下切り捨て表記) 別表2

会計別	補正額	補正後の総額
一般会計(第5号)	1億5249万円	69億6405万円
一般会計(第6号)	増減なし	69億6405万円
介護保険事業特別会計(第1号)	6883万円	11億2553万円
国民健康保険事業特別会計(第1号)	1783万円	12億4309万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	-176万円	1億5103万円
水道事業会計(第2号)	収益的収入	増減なし
	収益的支出	30万円
	資本的収入	200万円
下水道事業会計(第2号)	資本的支出	400万円
	収益的収入	増減なし
	収益的支出	200万円
下水道事業会計(第2号)	資本的収入	増減なし
	資本的支出	120万円
	資本的収入	200万円



定例会最終日の動画をこちらからご覧いただけます。

## 決算審査中の議員から村への質問・要望を紹介

### ◆Q. 公民館 Wi-Fi 設置工事が行われたが、どのように活用されているか?

A. 防災訓練や選挙速報のやり取りに活用した。パスワードは公開されているので、住民のみならずにも自由に使ってもらえる。南原区ではパソコン教室に、神子柴区では公民館から人権講演会にオンラインで参加した事例もある。災害時にはフリーWi-Fiに切り替わる。

### ◆Q. 地元応援商品券事業に登録した店舗等の受け止めはどうだったか?

A. アンケート調査等は行っていないが、今年始めの第3弾の時には、登録した127店舗のうち105店舗は利用があり、サービス業や医療機関なども含めて幅広く応援できた。住民への支援と村内事業所への応援ができ、満足いただいていると思う。

### 要望

令和3年度決算は、長引くコロナの影響を受けた。さまざまな行事やイベントが中止になり、介護予防など人と接する事業も大きく減り、経済活動の縮小も課題となった。引き続き住民生活に寄り添った、ていねいな事業執行を望む。

います。

「継続審査」  
（3ページの※注釈）  
定例会会期中に議決されなかった議案などは、次の会期に引き継がれます（会期不継続の原則）。継続審査とは、その例外として、本会議の議決によって、閉会中に行われる委員会で引き続き付託された議案、請願・陳情などの審査を行うことをいいます。





内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 HPより

# ワクチン接種今後の方針は

## オミクロン対応ワクチンで（村長）



原 源 次



**問** ワクチン接種の現状・効果、また今後の方針は。

**村長** 4回目接種の状況は60歳以上55・59%。18歳以上59歳で基

礎疾患を有する人、医療機関、福祉施設の従事者など9月末までに希望者全員終了の見込み。10月からオミクロン対応ワクチンに変えていく。このワクチンは初回接種を終えていない人は接種ができない。小児用ワクチンは努力義務が適用となり10月から接種体制を整えていく。今後ワクチン接種が長期化、複雑化してくる。ご協力をいただいている地域の医療機関の負担も大きくなっているのが課題。

**問** 保育園、学校における集団感染防止の対策は。

**教育長** 感染拡大対策は毎日家庭での健康観察の徹底と健康チェックカードの活用。発熱等風邪症状のある場

合は直接医療機関の受診をお願いしている。園、学校生活において感染拡大防止策として三密の回避、うがい、手洗い、手指消毒等基本対策、換気の徹底をしている。行事関係は、感染が拡大しないよう工夫、知恵を出し合い可能な限り実施、旅行行事実施ガイドラインに基づき進めていく。感染の状況を踏まえて保育、学びを止めないためにできる対策を行う。

**問** 今後行事への取り組みは。

**村長** 村独自で重症化リスクの高い人たちの集まる場所、イベン

トなど行事は取りやめた。現在陽性者数が減少してきて、再開に向けて各課で検討している。今後も基本的な感染症対策の徹底をお願いする。

## 脱炭素の取り組み

**問** 温室効果ガスの排出量を把握しているか。その結果と対策は。

**村長** 事務事業で排出される温室効果ガスは、エネルギー調査を実施し使用量を基に算出している。効果の高いLED化を実施、職員も自己点検チェックにより意識向上啓発に努めている。

**問** 温暖化対策実行計画に基づいた取り組みの結果と周知は。

**村長** R3年度から5年間を期間として事務事業編を策定し削減

にに取り組んでいる。計画はウエブサイトで周知している。また企業・一般家庭を含めた村全体の取り組みが重要である。

**問** 新エネルギーについて調査研究は。

**村長** H20年新エネルギービジョンを策定し、住宅用施設設置補助・公共施設に導入を図ってきた。新エネルギー導入の可能性についても調査している。公共施設のLED化が完了した後、新エネルギーの促進につながる事業を準備していく。

## 安倍元首相の国葬の中止を求める意見書

岸田政権は、安倍元首相の葬儀を国葬とし、令和4年9月27日に日本武道館で行うことを閣議決定しました。しかし、戦前の法的根拠であった国葬令は1947年に失効しており、法的根拠のない国葬の実施を国会で議論することなく、政府が独断で決定したことになります。

国葬の要件を定めた法規がなく、国会審議も経ないまま多額の税金が費やされる国葬を行うことになれば、法治主義にも財政民主主義の原則にも反するもので、国民の理解が得られるかは疑問が残ります。

戦後の首相経験者の葬儀をみても国葬は吉田茂氏のみで、そのほとんどが政府と自民党の合同葬となっています。安倍元首相の葬儀については、国民の賛否は二分しており、国民の厳しい経済情勢を鑑みても、全額国費負担となる国葬は中止すべきです。

よって、国におかれましては、上記の問題点を考慮し、令和4年9月27日に予定される安倍元首相の国葬を中止するよう、強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月14日

長野県上伊那郡南箕輪村議会  
議長 百瀬輝和

(宛先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

<お詫びと訂正> 議会だより138号P7 丸山議員の一般質問表題の、答弁者名の誤りを訂正してお詫びいたします。  
(誤) (村長) (正) (教育長)

延期していましたが

## 村民の声を聴く会

やります!



村内各地区に議員5人ずつ出向き、みなさんのご意見をお聞きします。  
事前申し込み不要!ご参加お待ちしております!

日 時	開催場所
10月22日(土) 10時~	南殿コミュニティセンター
10月29日(土) 9時~	北原公民館
11月12日(土) 10時~	神子柴公民館
11月13日(日) 13時30分~	中込公民館
11月19日(土) 10時~	西部地区館
11月26日(土) 10時~	久保コミュニティセンター
11月26日(土) 13時30分~	塩ノ井公民館

<他地区の予定>

日時・場所が決まり次第、議会ホームページや回覧でお知らせします。  
1月……沢尻、南原

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止または延期になる場合があります。  
※マスク着用など、感染防止にご協力ください。

< 議会を傍聴しませんか? > どなたでも傍聴できます

— 次回定例会は —

11月28日(月) から開催予定です。決定日時はホームページでご確認ください。

問い合わせは議会事務局まで



登内 瑞貴

# 施策推進における現状の課題は



## 具体的な政策を打って行けるかが課題 (村長)



出典：朝日新聞デジタル

### 地域コミュニティについて

**問** 現在の地域コミュニティへの対応

1、区・組未加入世帯への対応

区加入促進として、

**問** 「地域経営改革」への取り組みや支援は。

**村長** 来年度に向け、来年度に託児スペースの整備など、男女が共に働きやすい環境づくりのための施設整備に対する補助金の検討をしている。

**問** 地域コミュニティの課題の認識と施策は。

**村長** さまざまな課題がある認識している。

**問** 区、組の加入者・未加入者との不公平感の是正に向けた取り組みは。

**村長** 長年の懸案事項として引き継がれているものとして認識している。特にゴミ分別の立ち合いは、現在24か所ある南箕輪の資源ごみ回収委託ができないか、費用や委託先の調査を開始した。

**問** 第5次南箕輪村男女共同参画計画の進捗状況は。

**村長** 本計画は、R4年度が計画期間の初年度であり、識見者で構成される男女共同参画推進委員会の会議を現在まで2回開催し協

議を行った。その中で、地域流出に関連する部分については、地域や企業への男女共同参画の浸透を図り、女性が活躍できる場の創出を目指し、女性に選んでもらえる村にして行きたいというところで意

**問** 施策推進における現状の課題は。

**村長** 女性が地方で選べる仕事の幅が狭く、都市部に集まる傾向が強いというの大きな課題。しかし、本村だけで取り組める問題ではなく、上伊那の地域経営改革の機運をより醸成し、具体的な政策を打って行けるかが課題である。

**問** ユニティの状況についての認識は。

**村長** コロナ禍で地域のつながりが希薄化しているのは確か。しかし、多種多様な考えを持つ住民も増えてきており、つながりを求めない住民が一定数いると感じる。そういった中、南箕輪村第5次総合計画後期基本計画では、持ち家世帯の区加入率の目標を90%としており、今後しっかりと取り組んでいかなければ達成が困難と認識している。

**問** 各地区、職員2名の地区相談員の他に、本年度より集落支援員を配置した。

2、地域コミュニティ活動への支援

公民館活動、各区の団体へは引き続き支援をしていく。

3、地区の負担軽減

区の役割分担、村の役割分担の精査を進めている。

# 大芝湖の浚渫は

## 村政150年記念事業の一つとして行う (村長)



大芝湖



加藤 泰久



**問** 大芝湖の浚渫事業が頓挫しているが調査、研究する予定は。

**村長** 昨年度の入札は不落であった。同様の浚渫作業をしている

**問** マウンテンバイクのコース常時無料開放はいつ決定したのか。

**村長** コース整備は6月27日に終わり、7月1日～10月31日まで無料開放することにした。

**問** 広報はどのようなにしたのか。

**村長** 村ウェブサイトやLINE、SNSで広報した。

**問** 抗原検査キットの取り扱い薬局は。

**村長** 毛利薬局とほたる薬局。県の感染拡大の傾向時の一般検査事業として無料検査を実施している。感染の不安がある人は薬局で検査を受けることができる。実施期間は9月30日までとされている。

**問** 現場の教育方針や授業に望むことは。

**教育長** 小中学校では、知識・技能定着・思考力・判断力・表現力の活用において課題がみられる部分については、それぞれの学校の課題として洗い出し、日々の授業、教科研究につなげてほしい。ICT機器を活用した授業の充実が課題。

**問** スケートボードの開催の状況は。

**村長** 村の観光協会が、県の地域発元気づくり事業で今年度はじめて行った。6月にプールの清掃、7月にス

**問** 本村新規感染者の年代層の明示を。

**村長** 私独自の今年1月～6月までのデータ。10代未満28%、10代14%、20代13%、30代19%、40代14%、50代以上10%。最近7月～8月27日までのデータ。感染者656人、

**問** 4月19日行なわれた全国一斉学力状況調査について教育長の所見は。

**教育長** 国語、算数、理科について小学、中学とも全国平均を数ポイント上回っている。学習内容の定着が図られていると解釈できる。2学期以降課題のある内容を踏まえて、指導においてさらなる工夫を図っていく。

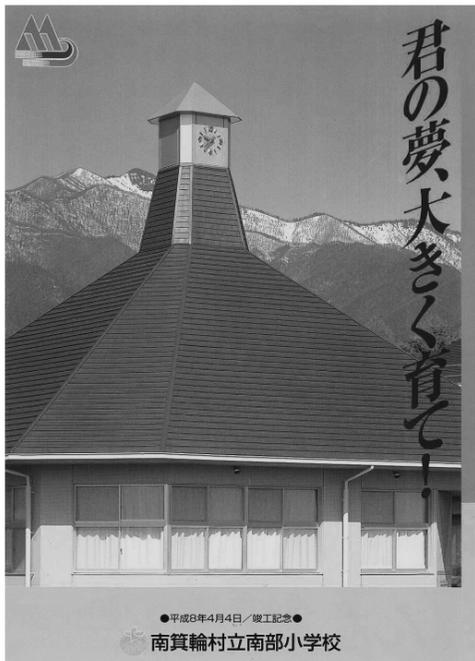


唐澤由江

# 全国的に少子化で 小中学生が減少しているが



## 村は2010年から10年で88名増えた(村長)



南部小学校開校パンフレット

君の夢、大きく育てて  
南箕輪村立南部小学校  
●平成8年4月4日/竣工記念●

えんのための村  
有林の間伐や  
伐採等に携わ  
ることのでき  
る機会を作つ  
ては、伐採木  
の無償提供を。  
植えて50年以  
上経過してい  
る林は二酸化  
炭素吸収量が

薪ストーブの材  
料を何人かで伐採でき  
る取り組みを。  
村長 以前関わった  
グループもあったが、  
多くの課題があり、中  
止している。かなりの  
松も切らなくてはなら  
ないので、チェンソー  
講習会や伐採の見学や  
植林など、安全に取り

**問** 小中学生が増え  
た要因は。  
**村長** 唐木村政で、  
保育料値下げや子育て  
しやすい環境整備があ  
る。「すくすくはうす」  
「たけのこ園」「こども  
館」など。また再就職  
支援もある。共同通信  
社の取材もあり視察の  
要望が相次いでいる。  
**問** 南部小学校が6  
教室増築したというが  
今後は。  
**教育長** H8年4月  
開校。114年続いた

教育委託を解消し、通  
常学級6、特別支援学  
級1の165名でスタ  
ートした。その後児童  
数が増え続け、H13  
年・26年・30年に増築  
した。20年後には19  
9名となり、通常学級  
8・特別支援学級2、  
R3年には249名通  
常学級10・特別支援学  
級3となった。人口推  
計はR7年をピークに  
減少の見込み。  
**問** 10月「産後パ  
育休」創設。国は13・

97%の取得率。  
**村長** 男性は5人中  
2人で40%。出生から  
1か月以内に取得。取  
得しない3人は「抵抗  
感、収入ないのが心配  
仕事に忙しい、迷惑か  
けたくない」が理由。  
職員定数増の案は育児  
休暇取得のため。今後  
職員にリーフレットで  
啓発し、ハラスメント  
防止に努めたい。  
**問** 村の環境基本計  
画に「森林づくりの推  
進」がある。住民が支

えんするための村  
有林の間伐や  
伐採等に携わ  
ることのでき  
る機会を作つ  
ては、伐採木  
の無償提供を。  
植えて50年以  
上経過してい  
る林は二酸化  
炭素吸収量が

低下し間伐伐採などの  
手入れが必要だという。  
**村長** ゼロカーボン  
達成に向けて重要なテ  
ーマだ。村は大芝高原  
100ha飛び地900  
ha。7月23日に間伐販  
売会を開催し、多くの  
村民が集まった。ニー  
ズの高さを認識し薪ス  
トーブ材料を無償提供  
した。間伐、伐採は専  
門性が必要で講習会な  
ど技術レベルを上げる  
など行政が働きかけて  
いく。  
**問** 薪ストーブの材  
料を何人かで伐採でき  
る取り組みを。  
**村長** 以前関わった  
グループもあったが、  
多くの課題があり、中  
止している。かなりの  
松も切らなくてはなら  
ないので、チェンソー  
講習会や伐採の見学や  
植林など、安全に取り

# まっくん健康ポイントの 積極的周知を



笹沼美保



## イベント開催時の周知も検討する(村長)

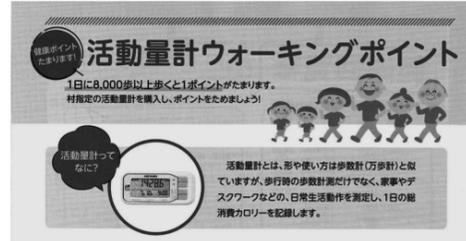
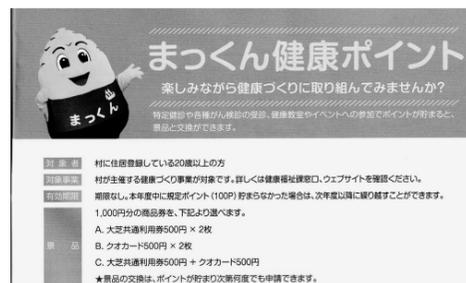
**問** まっくん健康ポ  
イントと活動量計  
ウォーキングポイント  
の参加状況は。  
**村長** まっくん健康  
ポイントは、R3年度に10  
73枚、R4年度はこ  
れまでに773枚。活  
動量計ウォーキングポ  
イントの利用登録者数  
は、9月1日現在15  
3人となっていて、伸  
び悩んでいる状況。  
**問** オクトーバー  
シアターウォークや  
経ヶ岳パーティーカルリ  
ミットなどのイベン  
ト時、積極的に周知して  
は。

健康づくりに関心のある  
人が多く参加するイベ  
ントで周知することは  
一定の効果がある。検  
討して取り組んでいく。  
**問** 活動量計は味工  
房でのみ購入できるが、  
森の交流施設で利用登  
録できるのは月に数日  
の健康コンシェルジ  
ユ在籍時のみ。常時  
利用登録できるのは  
健康福祉課窓口のみ  
で不便である。改善  
しては。  
**村長** 森の交流施  
設に健康コンシェル  
ジュが常駐するのは  
難しい。今の体制で  
運用したい。

特別支援学級と通級  
指導教室について  
**問** R3年度、南小  
にLD等通級指導教室  
が開室した。子どもた  
ちの学びの状況は。  
**教育長** 「まなびの教  
室」として専任の担任  
を1人配置し、現在10  
人が通級している。コ  
ミュニケーション能力  
や感情をコントロール  
する力を育てる学習、  
読み書きなどの困難に  
応じた指導、刺激に過  
敏な児童には環境を整  
える営みを行っており、  
自信をもって授業に臨  
める姿が見られるよう  
になった。教室の担当  
者が通常学級を参観し、  
児童の困り感に気づい

たり相談に乗ったりし  
ながら、必要に応じて  
教室の体験も実施して  
いる。今後も子どもの  
持ち味、保護者の願い  
を大事にしたい。  
**問** 4月に文科省か  
ら「特別支援学級及び  
通級による指導の適切  
な運用について」の通  
知が出された。村教育  
委員会の考え方と村小  
中学校の対応は。  
**教育長** 授業時数を  
目安に学びの場を分け  
ることは難しさがある。  
一人ひとりの状況に応  
じて「困り感に対して  
の必要な配慮」「就学  
時には可能な限り通常  
学級スタートで」「子  
どものようすを校内支  
援委員会と共有」、こ  
の3つを大事にして学  
びの場を考えた。自  
立活動は大事な観点で  
あり、みんなの中で学  
び、成長していくこと

を支援したい。  
**大芝高原内道路と  
駐車場の整備について**  
**問** 大芝高原中央の  
道路は、管理事務所か  
ら東は村道、西側は園  
路となっている。西側  
も村道認定し、より適  
切な管理と整備をして  
は。  
**村長** 園路のままの  
方が、村の権限で通行  
禁止にする、横断歩道  
のようなものを設置す  
るなど、弾力的な運用  
が可能。今後も適切な  
管理と整備を心がけた  
い。  
**問** マレットゴルフ  
場北側駐車場閉鎖の理  
由と今後の対応は。  
**村長** 落下木による  
事故防止とマレットゴ  
ルフ場無断使用防止が  
理由。この2つの課題  
が解決するまでは、当  
面閉鎖としたい。



詳しくは、村報4月号または村ホームページをご覧ください



山崎 文直

# 通学路のグリーンベルトの効果は



## その上を歩く意識が定着してきている (教育長)



マナーの良い生徒たち

**問** 事故防止に役立つグリーンベルトの効果はどう評価するか。

**教育長** グリーンベルトは歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、通学路であること、歩行空間の存在認識、注意を喚起し、車の速度を抑制させ、歩行者との接触事故を防ぐことが目的で歩道ではない。学校までの道順がわかりやすくなったという保護者の意見。安全

**問** 指導で「道の端を歩く」ことの伝えやすさ。「ベルトの上を歩く」という子どもたちの意識が定着してきていると受け止めている。

**村長** 国の調査で、対策前と後では車の速度が抑制されていることが分かった。通学路の安全を確保するため、村通学路交通安全プログラムにより正しい安全教育に取り組んでいく。

**問** 更新は順調に進んでいるか。

**村長** グリーンベルトはH24年度からR3年度までに、村内全域で約12キロメートル施工している。住宅増によりさらに整備が必要になってきている。補修は色が薄れているところから行っている。

**問** 生ごみ処理器の設置状況

**問** 可燃物の袋に庭木の処理材が多くみられる時期、生ごみ処理器での分解は可能なのか。

**村長** 基本は野菜くずなどを分解するもの。乾燥式・バイオ式・コンポスト容器の3種類がある。

**問** 価格高騰は村の事業にも影響が多い。

**村長** 村の事業にも影響がある。ガス・電気・資材など高騰に補正予算で対応しなければならぬ。R4年は建設資材が約5・6%上昇。R4年度予定しているLED化工事は8%の追加補正を予定。着工については世界情勢、円安、働き方改革などを見て、できる限り早期発注したい。

# フォレスト大芝今後の活用は



都志 今朝一



## 大芝荘と同時期に方向性を定める (村長)

**問** 大芝施設、フォレスト大芝の今後の利活用は。

**村長** フォレスト大芝は、大芝荘の別館宿舎、合宿の受け入れ施設、泊施設として利用。現在は大芝荘休業に伴い閉館。今後の活用方法を

**問** 通学路の安全対策、グリーンベルト剥離部分の補修は。

**村長** グリーンベルトの整備はH24年度より施工。経年劣化などにより、傷みの箇所が多くなった。地区から新しく補修要望もあり優先する。剥離部分は状況を確認して補修を進めていく。

**問** H28年より指定を受けたゾーン30の効果の検証は。

**村長** 地元住民にゾーン30自体の意味などが浸透していない。ゾーン30の存在や意味などさまざまな広報媒体で周知、地域の安全・安心を高めるよう努力する。

**問** 防災マップの情報量が多すぎる。簡素化が必要ではないか。

**村長** 内容については最低限必要な情報を重点的に提示。災害対応は行政サービスでなく、行政サポートが正しい姿。提供する情報量をなるべく多くし判断の材料としての活用を考えている。村ではわかりやすく見やすい工夫を考えていく。

**問** 学校安全対策、学校設備、総点検の結果はどうであったか。

**教育長** 村では、各小中学校の職員が石碑や銅像、バックネットやフェンスなど、目視や手で触れて確認。点検範囲では、南小で立像に亀裂がある物が2件確認。緊急性の高い立像は修繕。高所や専門的な知識が必要なものはできていないのが現状。今後、施設設備の点検、改修や更新を実施し、児童・生徒が快適に学校生活を送ることができるよう環境づくりに努める。



閉館中のフォレスト大芝

**問** 劣化により見えづらいスクールゾーン標識などの修繕は。

**村長** 担当課で現地

**問** 大規模災害時、備蓄トイレ数が不足していると思えるが。

**村長** 村では交付金を活用して、簡易トイレ26基購入、13基を各

**問** 他市町村との姉妹(友好)都市提携の考えは。

**村長** 基本スタンスとしては、交流の中から自然に提携への話につながっていくこと

**問** 可燃物の袋に庭木の処理材が多くみられる時期、生ごみ処理器での分解は可能なのか。

**村長** 基本は野菜くずなどを分解するもの。乾燥式・バイオ式・コンポスト容器の3種類がある。

# 大芝公園の遊具整備、更新は

## 整備計画を作成し早い段階に進めたい (村長)



三澤 澄子



**問** 特命室を置いて、スト、アンケート、む取り組む大芝高原将来。らづくり委員会諮問をビジョンと整備計画は。経て、6月にビジョン

**村長** 愛している人。を策定。「いやしの森」多く、関心も高いスポ。いつも、いつまでも」ット。多様な意見をて。をコンセプトに6ゾーいねいに集め、コンテ。ンに分けてグラウンドデ



大芝公園の遊具

ザインした。整備計画は専門的知識のあるコ。ンサルタントの支援を。受けて、今年度内に作。成する。

**問** 老朽化が進むス。ポーツ施設の点検、整。備は。

**村長** 野球場はS49。年に整備し48年経過。整備要望が出ていて早。期改修が必要。バック。スクリーンの塗装は完。了し、防護マット等順。次改修予定。他の施設。も特命係が現場で即対。応できるようになった。

**問** 大芝の湯の運営。改善やリニューアル計。画は。

**村長** 開湯20年経つ。た。コロナで影響は受。けたが、今年度は11。7%利用増で少しづつ。改善。大きな改修は公。共施設改善計画でR11。年の予定。東側にバリ。アフリーの駐車場を設。置し利便性を高める。職員研修もしてサービ。ス向上にさまざまな取。り組みをする。

**問** 村直営施設「森。の学び舎」の利用状況。と大芝全体に活かす取。り組みを。

**村長** 4月から87件、。1000人の利用。開。発公社に指定管理し有。効活用できる。法人の。力をつけることも求め。られる。

**問** 安心して検査で。きる方法、抗原キット。配布場所の周知を。

**村長** 県の負荷を避。けるため個々の対応を。村内2か所にキット配。布薬局がある。ウェブ。やかかりつけ医に相談。を。

**問** 保健所に詳細情。報を求め、村としての。行動指針を。

**村長** 保健所負担が。多く、難しい。県情報。を参考に村独自の判断。を加えて対策している。確実に医療につなぐこ。とが第1優先になる。

**問** 生活福祉資金特。例貸付、村では226。件7226万円になっ。た。償還が始まる次の。支援を。

**村長** 償還は最長10。年で無理のない計画で。弾力的運用をする。必。要に応じて別の制度等。随時相談。外国人は言。葉の壁もあり、地域お。こし協力隊の力を借り。人的サポートをする。

**問** 自宅療養への医。療、健康観察、食糧支。援は。保健所の強化は。

**村長** アプリでの健。康観察、社協での買物。代行等できる。保健所。は臨時任用や他の行政。職員も支援し体制強化。必要な人を医療につな。げ、健康観察センター。で対応している。

### コロナ感染症第7波の対応について

### コロナ下の生活保障「公」を取り戻そう

**問** 保健所は最長10。年で無理のない計画で。弾力的運用をする。必。要に応じて別の制度等。随時相談。外国人は言。葉の壁もあり、地域お。こし協力隊の力を借り。人的サポートをする。

## 教育関係者との懇談会

### 福祉教育常任委員会

8月10日、福祉教育常任委員会と教育関係者との懇談会を開催した。『コロナ禍での学びを止めない工夫』をテーマとして、村内小中学校の校長・教頭、教育委員会から各学校の現状や課題を聞き、意見交換を行った。

小中学校共通の状況としては、学級閉鎖などの理由で登校できない場合でも、タブレットを活用しオンラインで授業に参加できるよ

うにするなど、学びを継続できるようにしており、行事においても感染状況を見極めながら、可能な限り実施できるよう調整しているとのことだった。また、ICT支援員の力を借りながら教員のスキルアップを図りつつ、中学校では生徒・保護者向けのネットモラル講演会を開催するなど、ICT教育充実に努めている



現状を聞くことができた。地域との関わりについても触れられ、登下校時の見守りや学校環境整備、学習支援に地域のみなさんの支えがあると、感謝の声も寄せられた。

学校関係者や地域のみなさんの支えに感謝しつつ、子どもたちにとって今しかできない学びを継続できるように、議会として今後も尽力していきたい。

### 長野県町村議会議員研修

7月14日、松本市キッセイ文化ホールで長野県町村議会議員研修が行われ、全議員で参加した。

「防災・減災対策と議員の役割」では、平時からの危機管理と、災害時の対応方針を明確にしておく必要性を再認識することができた。

「議会におけるハラスメント」では、具体的な事例と裁判例の説明を受けながら、ハラスメント防止や対処の取り組みを学ぶことができた。今後も常に意識を高めて議員活動にあたりたいと、決意を新たにしました。

### 町村議会

### 広報研修会

広報委員長 原 源次

9月21日、新型コロナウイルス感染症対策を講じて行われた、全国町村議会議長会主催の町村議会広報研修会に参加しました。議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況に鑑み、町村議会広報編集委員を対象にした研修の場を設け、議会広報の発展に資することを目的に、3人の講師による講演がありました。

◎越地真一郎氏

「そろそろ化けませんか!!」

「絶滅危惧から持続可能な議会広報へ」

◎谷浩明氏

「これからの議会広報を考える」

「住民に『伝わる』情報発信と広報誌作成のポイント」

◎吉村潔氏

優秀議会広報クリニック「3つの議会広報が教えてくれること」

講演を通して、議会だよりの基本的な在り方や作り方など、住民に伝わる広報誌を目指していくことを改めて勉強させられました。



ハラスメントは許しません!

# きらきら村の仲間たち

今回は村の地域おこし協力隊として日々頑張っている鈴木保菜美さんと岡村成樹さんにインタビューしました。

## インタビュー項目

- ①南箕輪村の地域おこし協力隊に  
応募したきっかけは？
- ②現在の活動内容は？
- ③これから目指すものは？
- ④村民のみなさんに伝えたいことは？
- ⑤趣味は？
- ⑥好きなものは？
- ⑦嫌いなものは？

## 南箕輪を英語村にしたい!

東京都出身 神子柴在住  
地域づくり推進課所属・英語レッスンを担当  
令和3年10月着任

すずき ほなみ  
鈴木 保菜美さん



- ①異なる年齢層が集まる地域で教えたかったので、南箕輪村のホームページで業務提案型の募集を見つけて応募しました。
- ②保育園やこども館で子ども向けレッスン、村民センターで中学生や大学生向けのレッスンをしています。今後は、地域おこし協力隊の拠点“GATHER!”のキッチンを使って、英語で会話しながら料理体験なども行っていきます。
- ③英語教室や学校以外で英語を使える場所が少ないと感じており、英語が使える場所を提供していきたい。その一環として、英語カフェや、1日英語で生活してみたりと実用的な英語を学ぶことを強化していきたい。

- ④英会話は完璧である必要はありません。英語に対して「やりたくない」とか「苦手」という意識を持たないように、小さい頃から気軽に話す経験をたくさんしてほしいので、そういう場所作りをしています。英語が苦手といった気持ちをすでにお持ちの方々にも、気持ちがほぐれて、気軽に参加できるレッスンを行っています。英語に少しでも興味があれば、アットホームな雰囲気ですべて是非参加してください!

- ⑤ お菓子作り、犬の散歩
- ⑥ 映画、洗濯、フルーツ
- ⑦ 計算



## 南箕輪村発(初)! ポッドキャスト配信中!

埼玉県出身 沢尻在住  
産業課所属・観光分野の新企画立案と情報発信を担当  
令和4年1月着任  
おかむらなるき  
岡村 成樹さん



- ①以前から地方での生活に興味がありました。そして私の叔母が御代田町に住んでいて、幼い頃から長野県に来る機会が多く、なんとなく長野県に良いイメージを抱いていました。ただ、東信や北信は寒くて雪も結構降りますが、私は埼玉県出身なので雪に耐性がない。実際に移住となると「自分が移住して大丈夫かな」という不安があったので、雪が少ない南信の中で、南箕輪村を見つけて協力隊の応募し移住したということになります。

- ②〇ポッドキャスト配信  
(みなみみのわ移住ラジオ「Mラジっ!!」)  
〇村観光イベントの企画・運営  
自転車を使ったロゲイニングを企画しています。

- ③南箕輪の魅力やゲストの魅力を伝えるきっかけ作りをポッドキャストを通して行っていききたい。  
南箕輪の地域性を生かしたスポーツイベントなどを計画していききたい。

- ④「Mラジっ!!」を是非聞いてください!  
ゲスト出演者も募集中です!

- ⑤ オープンカーでドライブ
- ⑥ 焼き鳥とビール



「Mラジっ!!」はこちらから!→



※1 ポッドキャスト…音声や動画などのデータをネット上に公開する手段の1つで、スマホやパソコンで無料で聴けるサービス。  
※2 ロゲイニング…地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。

## 地域おこし協力隊って?

地域おこし協力隊は、都市部から地方に移住し地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みで、地域力の維持と強化を図ることを目的とした制度。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上3年未満。令和3年度で約6,000人の隊員が全国で活動しているが、国はこの隊員数を令和8年度までに10,000人に増やすと目標を掲げており、協力隊の活動に要する経費は、隊員1人あたり480万円(報償費等含む)を上限として負担している。任期後は、起業希望者向けの補助制度もある。(総務省HPより)

本村の地域おこし協力隊員数は10月1日現在12名である。

# 議会だよりモニターの声

モニターみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

## 138号(前号)誌面に対するご意見・ご感想

- いろいろなことを細かく紹介されていて、分かりやすくまとめられています。
- 意見書の全文が掲載されておりますが、要点の箇条書きでも十分対応できると思います。主旨がつかまらない心配もありますが、検討ください。
- 写真も入れてくださり分かりやすくなっていますが、率直に「文章や表が多い」と感じました。写真はイメージを伝えてくれますが、議論内容を的確に伝えるツールとしては弱いので、議論内容や政策内容を分かりやすく「構造的に示した図」があると、より読者の理解が進むのではないかと思います。

- やはり内容は別として、議会だよりを多くの方が読むことが大切だと感じます。そのためにはもう一工夫、興味を引く努力をお願いします。
- 必要な情報をきちんと掲載して、関心のある(意識の高い?)方への要望に応える一方で、文字が多いとそれだけスルーしてしまう傾向のある若い世代(これも有権者)に対し、どう受け入れてもらえる誌面づくりをするのか…大変苦労されることだと思います。(職場の労組の会議で)同じような問題意識で協議した際、簡単に読みたい人向けと、しっかり読みたい人向けに2パターンで作成するのはどうか?という意見がありました。絵とか写真・図を使って簡単に要点がつかめるダイジェスト版と詳細な記載は後のページでというようなイメージです。今の構成も十分工夫されていると感じますが、まずは目を通してもらうところで、次世代の特性に応じた対応も徐々に進めていくこともありかと…(実際はとも難しいことですが)。学校での主権者教育とかともリンクできると良いかと思います。

## 議会に対するご意見など

- 新型コロナウイルス感染状況悪化の中「村民の声を聴く会」が中止になり、とまも残念でした。ありません!
- 各議題について優先順位をつけ、検討していくことも大切だと思います。
- 車でいろいろな自治体を通るたびに、道路沿いの花壇が整えられている地域に魅力を感じます。議員花壇の植え付け、ありがとうございます。何らかの形で他の参加団体にも声がけし、一斉に咲き誇ると良いと感じます。



- 最近の豪雨災害に見られるように、温暖化による気候変動はますます災害を活性化させます。中山間地域を含む南箕輪村では、崩壊や土石流など土砂災害の危険性が高まっています。よって、①「災害防止のための計画・整備」に加え、②「災害が起こること前提の避難計画及び整備」が急務だと考えています。これらは長野県が進めるような既存の防災計画では難しい可能性があり、村独自の災害対策を既存の枠組に縛られないカタチで検討していく必要があると考えています。
- 地方自治体の議員不足の傾向(南箕輪は幸い今のところ大丈夫か?)を受け、さまざまな取り組みがされていると聞きますが…。南箕輪村議会独自の取り組みとか、近隣の他の自治体のように…例えば、働く世代が議員と仕事を両立できるように、議会を夜の開催にするとか…(職員のみなさんの人件費とか、メリット、デメリットも含め)少しずつでも紹介していただけるとどうかなと思います。

## 編集後記



安倍元首相の国葬が国論を二分する中で終わった。この議会だよりが配付される頃は、法整備の必要性など検証も進んでいると思う。

本議会では、意見書の趣旨が法的根拠なく、多額の税金支出という理由で、国葬中止、賛成4という結果であった。専門家の意見も分かれるが、多くの国民が望んだのは、国権の最高機関である国会の議論や三権の長との協議などが必要だった、と言うことなのだろう。

編集委員

丸山 豊